

わくわく

2月号

本だな

1 2 3 年



えほん

ホームページも  
みてね!



E 『みどりいろのつりがね』

オトフリート・プロイスラー／作 ヘルベルト・ホルツィング／絵

武本佳奈絵／訳 好学社

昔、ロシアのある村の畑から、大きなつりがねが見つかりました。つりがねからは、とても美しい音がしました。その音色には、村人たちにきぼうをあたえる力があつたのです。

その話を聞いたこうていは、つりがねを自分の物にしようと考えて、へいしとともに村へ向かいました。

ものがたり

K913 『まほうのアブラカタブレット』

如月かずさ／作 イシヤマアズサ／絵 PHP 研究所

こたろうは、学校のタブレットをぶつけてしまいました。あわててたしかめると、画面のすみっこが少しめくれています。元にもどそうとこすったとき、見たことのないアプリが出てきました。こたろうがアプリをおすと、画面の中に、むらさき色のヘビのような〈タブー〉となる生き物があらわれます。こたろうはタブーに教えてもらいながら、このアプリを使ってみることにしました。



ものがたり



K913 『とらまる、山へいく やまの動物病院②』

なかがわちひろ／作・絵 徳間書店

とらまるは、山のふもとの動物病院のかいねこです。夜になると、とらまるは小さなはくいを着ます。山の動物たちをしんさつする〈やまの動物病院〉のはじまりです。すると、病院にいつびきの白いウサギがかけこんできました。山にとっても苦しんでいる動物がいるから助けに来てほしいというのです。とらまるは、薬の入ったかばんを持って、ウサギといっしょに山道を登りました。

ちしきのほん

E 『エスカレーターとエレベーター』

小輪瀬護安／さく 福音館書店

エスカレーターは、たくさんの人を次々に乗せることができます。エレベーターは、はなれた階まですばやく人を運ぶことができます。エスカレーターとエレベーターが、ゆかの下やかべの中でどのように動いているかしょうかいします。



としょかんのまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね!〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200

わくわく

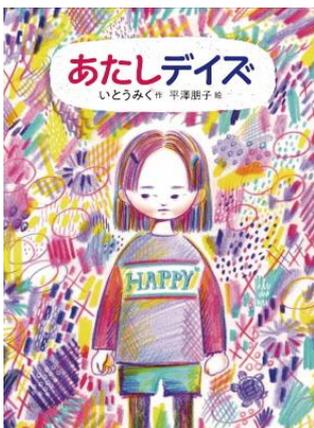
2月号

本だな

4 5 6 年



ホームページも  
みてね!



物語

K913 『あたしデイズ』

いとうみく／作 平澤朋子／絵 新日本出版社  
今日は、楽しみにしていた一泊二日の移動教室の班決めの日です。睦月は、仲良しのガッコとコマリと同じ班になるつもりでした。それなのに、ふたりは何も言わずに睦月を仲間外れにしたのです。睦月は、話したことがないクラスメイトと同じ班になるしかありませんでした。「あたしのことがきらいになったのなら、ちゃんと理由を言ってくればいいのに。」睦月はふたりから仲間外れにされた理由がわからなくて、なやんでしまいます。

物語

K913 『今日もピアノ・ピアノ』

有本綾／作 今日マチ子／絵 Gakken  
海斗は、駅の中からピアノの音が聞こえてくることに気がきました。駅に入ると、ひとりのおじいさんがピアノをひいています。その優しい音色に、海斗は夢中になりました。自分もピアノをひいてみたいと思いましたが、習い事をい

けれど、海斗はおじいさんの演奏を忘れることができませんでした。何度も駅に通いましたが、おじいさんには会えません。二週間後、ようやく再会できたおじいさんから、ピアノをやってみたいのであれば教えてあげようか、と言ってもらえたのです。



ちしきの本

K141 『脳と目がカギ!色のふしぎ』

最新研究でひもとく色覚のしくみから配色のコツまで』

竹内龍人／著 誠文堂新光社

わたしたちの身の回りには、たくさんの色があります。色を見ると、私たちは感情を動かされたり、さまざまな印象やイメージを受け取ることができます。けれども、その感情や印象、イメージは見る人によって異なることが分かっています。

なぜ見る人によって異なるのでしょうか。私たちはどのようにして色を見ているのでしょうか。この本では、色に関する疑問や知識を解説します。



図書館のまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね!〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200